

# HAMATEX

ハマテックス



## 優れた出来栄え

ハマキャスト外装仕上材の優れた出来栄えと、躯体保護に最適な下地調整材。



## 長寿命

早強性、防水性、耐久性を持ち、コンクリートの中性化の抑制にも効果的。



## 耐候性

仕上材のトップコートは紫外線カット率が高く、劣化を防ぎ、長期間品質を保持。



## 微弾性(可とう性)

基材は微弾性(可とう性)を持ち、下地の微小な挙動等にも追従し柔軟に対応。



## 強付着性

カチオン性(電気的特性)により付着力が強く、様々な素材に強い付着力を持つ。



## 施工性

粘度調整、接着性等に優れ、低収縮性、速硬化性のため、施工効率が良い。



## 維持費削減

外壁の美しさと品質を長期間保持するので、改修の回数と維持管理コストを削減。



## 完全責任施工

高品質・高機能を保証するために、施工の全工程を一貫して自社で行う責任施工。





### ハマキャスト石材調吹付仕上材をより綺麗に仕上げるため自社開発した外壁用下地調整材

『ハマテックス』は、仕上材の出来映えを左右する下地を、より綺麗に、より長期間維持するために開発した、優れた付着力と可とう性を持つ、外壁用下地調整材です。

### 特長

#### ◆特長

- ・ 塗装面の下地調整や躯体保護などに幅広く使用できるポリマーセメントモルタル。
- ・ カチオン性により付着力に優れ、コンクリート、モルタル、ALC、ECP、磁器タイル、エポキシ樹脂塗布鋼板など、様々な素材に強い付着力を持ち、接着性が維持できる。
- ・ モルタルに比べ可とう性(微弾性)があり、下地の微少な挙動に追従する。
- ・ 上塗材・下塗材ごとに、粉体と混和液がセットになっているので、現場で行う作業(混練・攪拌)、施工監理が容易。



### 接着性

※自社測定結果

被着材		接着強さ N/mm <sup>2</sup>
無機質材	コンクリートセメントモルタル	1.69
	ALC	0.59 (ALC 破断)
	石綿スレート	0.98
	けい酸カルシウム板・GRC板	1.27
	陶磁器タイル(施釉面)	1.96
	大理石	1.79
有機質材	アクリルエナメル塗布・複層模様仕上面	1.21
	ウレタンエナメル塗布・複層模様仕上面	1.27
	エポキシ樹脂塗布・鋼板	2.16
	硬質塩ビシート	0.55
	塩ビ系防水シート	0.76
	合成ゴム系防水シート	0.74
	タールウレタン樹脂	0.46
アスファルト系接着剤面	0.88	
カーボンウレタン樹脂	1.40	
ポリエステル系プリント板	0.13 (接着不良)	

### 荷姿

#### ◆ハマテックス H-100 (上塗材)



ハマテックス H-100 A材(混和液)  
1箱 16.5kg (5.5kg×3袋)



ハマテックス H-100 B材(粉体)  
1袋 20.0kg

#### ◆ハマテックス H-200 (下塗材)



ハマテックス H-200 A材(混和液)  
1箱 14.4kg (3.6kg×4袋)



ハマテックス H-200 B材(粉体)  
1袋 20.0kg

### 仕様

セット内容	H-100 (1セット)		H-200 (1セット)	
	A材(混和液)	B材(粉体)	A材(混和液)	B材(粉体)
	5.5kg×3袋	20kg×3袋	3.6kg×4袋	20kg×4袋
	16.5kg(ビニール袋入り)	60.0kg(紙袋入り)	14.4kg(ビニール袋入り)	80.0kg(紙袋入り)
	合計 76.5kg		合計 94.4kg	
用途	上塗り材		下塗り材	
混練方法	H-100		H-200	
	①A材(混和液)5.5kg×3袋を混練容器に入れ、B材(粉体)20kg×3袋を加えハンドミキサー等で良く攪拌する。 ②清水を適量加え粘度調整する。 ③合計 76.5kg		①A材(混和液)3.6kg×4袋を混練容器に入れ、B材(粉体)20kg×4袋を加えハンドミキサー等で良く攪拌する。 ②清水を適量加え粘度調整する。 ③合計 94.4kg	
使用量	下地の種類により異なる ※0.3~0.6mm厚で、約0.5~1.0kg/m <sup>2</sup> ※約 153~76 m <sup>2</sup> /Set (76.5kg)		下地の種類により異なる ※1.3~1.8mm厚で、約25~35kg/m <sup>2</sup> ※約 37~27 m <sup>2</sup> /Set (94.4kg)	
可使用時間	1時間(20℃)		1時間(20℃)	

※参考: BCJ-107『ハマテックス・ネットアンカー工法』下地がタイルの場合について

### 施工法および注意事項

- ◎下地の脆弱部・浮き部・油脂分および塵埃等は、ケレン、ハツリ、脱脂、高圧洗浄で完全に除去する。
- ◎先ず混練容器にA材(混和液)を規定量の約80%の目安で入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら、B材を徐々に加えていき、ダマの出来ないように十分練り上げる。残りの約20%のA材は、作業目的に応じた粘度調整に使用する。
- ◎気温3℃以下、降雨、降雪が予想される場合は施工を避ける。